

## 新潟大学 倫理審査委員会 オプトアウト書式

①研究課題名	生体における異常凝集体の検証
②対象者及び対象期間、過去の研究課題名と研究責任者	1990年1月1日から現在まで新潟大学脳研究所病理学分野で病理診断を行った、アルツハイマー型認知症（5例）、軽度認知症（5例）、パーキンソン病・レビー小体型認知症（5例）、および対照例として非認知症（5例）、非パーキンソン病・非レビー小体型認知症（5例）と診断された患者様で、新潟大学脳研究所病理学教室に対して病理解剖、及び研究利用、保存の同意をいただいている方を対象としています。
③概要	上記の期間に脳研究所病理学分野のスタッフにより病理解剖で採取され、同意書により脳研究所における保管と研究への利用に同意されている凍結脳組織を用い、生化学的、病理学的解析を行います。
④申請番号	C2024-0039
⑤研究の目的・意義	<p>アルツハイマー型（AD）の有病率は、2050年には世界の85人に1人に達すると予測されていますが、発症メカニズムが未だ不明な点が多く、早期診断に有効なバイオマーカーが確立していないことはもちろんのこと有効な治療法も現時点では確立されていません。</p> <p>AD患者およびLewy小体型認知症患者の脳内から見出された、神経細胞に対して非常に強力な毒性を示す新たな<math>\beta</math>アミロイド由来構造体「アミロスフェロイド（amylospheroid:以下ASPDと略す）」は、神経細胞に特異的に発現し、その生存と機能に必須であるNa, K-ATPaseポンプの<math>\alpha 3</math>サブユニット（NAK<math>\alpha 3</math>）に結合することで神経細胞死を誘導することがこれまでにわかっています。ASPDはADで起こる神経細胞死の有力な原因物質の1つと考えられます。</p> <p>また、これまでにパーキンソン病やALSにおいても、各疾患に固有な異常構造体がNAK<math>\alpha 3</math>ポンプに結合することで、その活性を阻害し神経細胞死を引き起こすことが報告されています。</p> <p>本研究ではADに加え、ASPDが蓄積することがわかっているLewy小体型認知症や、ナトリウムポンプに同じく障害が起きるパーキンソン病の患者のASPD病態の解析を行うことで、各疾患の関係が明らかになると期待されます。</p>
⑥研究期間	倫理審査委員会承認日から2025年3月31日まで
⑦情報の利用目的及び利用方法（他の機関へ提供される場合はその	脳研究所で保管されている凍結脳組織から一部を検体として採取します。検体と患者さんの臨床情報（年齢、性別、疾患名）を個人が識別できない番号を付した状態で、神戸医療産業都市推進機構先端医療研究セ

方法を含む。)	ンター神経変性疾患研究部へ提供し、解析を行います。
㊸利用または提供する情報の項目	脳研究所病理学分野のスタッフにより病理解剖で採取され、同意書により脳研究所における保管と研究への利用に同意されている脳組織（凍結）、および、付随する臨床情報（年齢、性別、疾患名、罹病期間、中枢病理所見）を用います。
㊹利用する者の範囲	新潟大学脳研究所病理学分野および以下の共同研究機関等で利用いたします。 本学の研究責任者：新潟大学 脳研究所病理学分野 柿田 明美 共同研究機関：神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター 神経変性疾患研究部 星 美奈子、堀口 亮
㊺試料・情報の管理について責任を有する者	新潟大学脳研究所病理学分野 柿田 明美 共同研究機関：神戸医療産業都市推進機構先端医療研究センター 神経変性疾患研究部 星 美奈子
㊻お問い合わせ先	本研究に対する同意の拒否や研究に関するご質問等ございましたら下記にご連絡をお願いします。 所属：新潟大学脳研究所病理学分野 氏名：柿田 明美 Tel：025-227-0633 FAX: 025-227-0817 E-mail：kakita@bri.niigata-u.ac.jp